




















カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	取得なし(自社のできる環境保全への取り組みをしていく。) (クリーンウッド法・合法木材認定業者登録取得)			3.9			6	7								12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HOMEページに自社の取り組みを開示している。																12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	信州F.POWER、プロジェクト推進 木質バイオマス発電所への販売、供給に取り組んでいる。							7.2										13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	間伐材の利用は、森林整備と持続的利用の配慮につながるので利用促進に取り組んでいる。																	12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職、贈収賄に関与なき様、就業規則に規定し社内に周知徹底している。																					16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為に関与なき様、担当役員が対応し社員に周知している。																					16	
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	木材の県産材の証明や地域産材をブランド化、クリーンウッド法等で、知的財産保護に努めている。「信州プレミアムカラマツ」「木曽ひのき」等の標記、推奨に取り組んでいる。特許・商標等知的財産権の侵害に留意している。									8.2 8.3	9												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	取引先の個人情報の流失などないよう管理を実施している。																					16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】取り扱いなし																						16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】取引先との対話を通じて取り組みを認識、共有を促進する。					5				8		10							12	13	14	15	16
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	違法伐採された木材を利用しないよう伐採許可証等の確認、顧客の登録により伐採の確認をしっかりと行っている。合法木材認定業者として合法木材を把握し販売供給している。			3.9															12.4				
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	木曽産の280年生以上の桜を天然木曽桜、国有林80年生以上の人工林ひのき良材を木曽ひのきと標記し、長野県産カラマツ80年生以上、径級30cm以上の良材を信州プレミアムカラマツと標記しブランド化して推奨している。																						
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境、地域に適した材の地域産材の使用促進に取り組んでいる。市場に集まる森林整備の為の間伐材を利用促進している。							6											12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	森林整備のために集まる間伐材などを有効利用出来るように仕分けし木質バイオマス発電所などに販売協力している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	木曾谷流域森林整備推進協定(H.25~R5.3.31)など対応している。				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	植樹祭の参画、木材の採材の指導、地域の学生の企業見学など地域活動に参画している。				4								11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	木曾特有の木材、地域産材を使用した社屋の建築、パーティションの製作等、来場者に地域産材を紹介し利用促進に取り組んでいる。地域産材を活用した信州認証合板の販売を促進している。										8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	役員が経営理念、目標を社員に説明、共有している。また、HOMEページ掲載も実施している。										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	責任者が、コンプライアンスの重要性を社内で社員に発信し、改正等連絡事項は掲示板等で周知徹底している。																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	CSRを役員が担当し、体制を整備している。																				16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーとの対話を通じて、自社活動への影響を把握して、適切な対応に努めている。																				16 17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	責任者（役員）が中心となりリスクを把握し、分析から保険の手配などを含めリスクマネジメントを実施している。																				16
40		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	森林整備事業の推進と森林資源の保護、復元を両立させるべく、需給バランスの調整役として責任を持って取り組んでいる。（木材流通拠点としての役割）																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画(BCP)の策定に取り組む。											9		11		13 13.1					16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	社員の人材育成を支援し将来の担い手(承継)作りを推進している。										8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）